

# 宮寺・二本木地区小学校の 統合に関する説明会

令和7年11月7日

宮寺・二本木地区センター

令和7年11月8日、15日

博物館

# 目次

## 1. 学校統合について

- ・ 入間市の人口と児童生徒数の推移 . . . . . P. 3
- ・ 学校統合の目的 . . . . . P. 4
- ・ 令和14年度の児童数及びクラス数推計 . . P. 5

## 2. 統合・建替え場所決定の経緯

- ・ 統合の経緯 . . . . . P. 7
- ・ 公共施設マネジメント事業業画 . . . . . P. 8
- ・ 学校統合地区検討会議 . . . . . P. 9
- ・ 学校統合地区検討会議（報告書の提出） . . P. 10
- ・ 用地取得に向けた経緯 . . . . . P. 11
- ・ 用地の決定 . . . . . P. 12

## 3. 統合のスケジュール

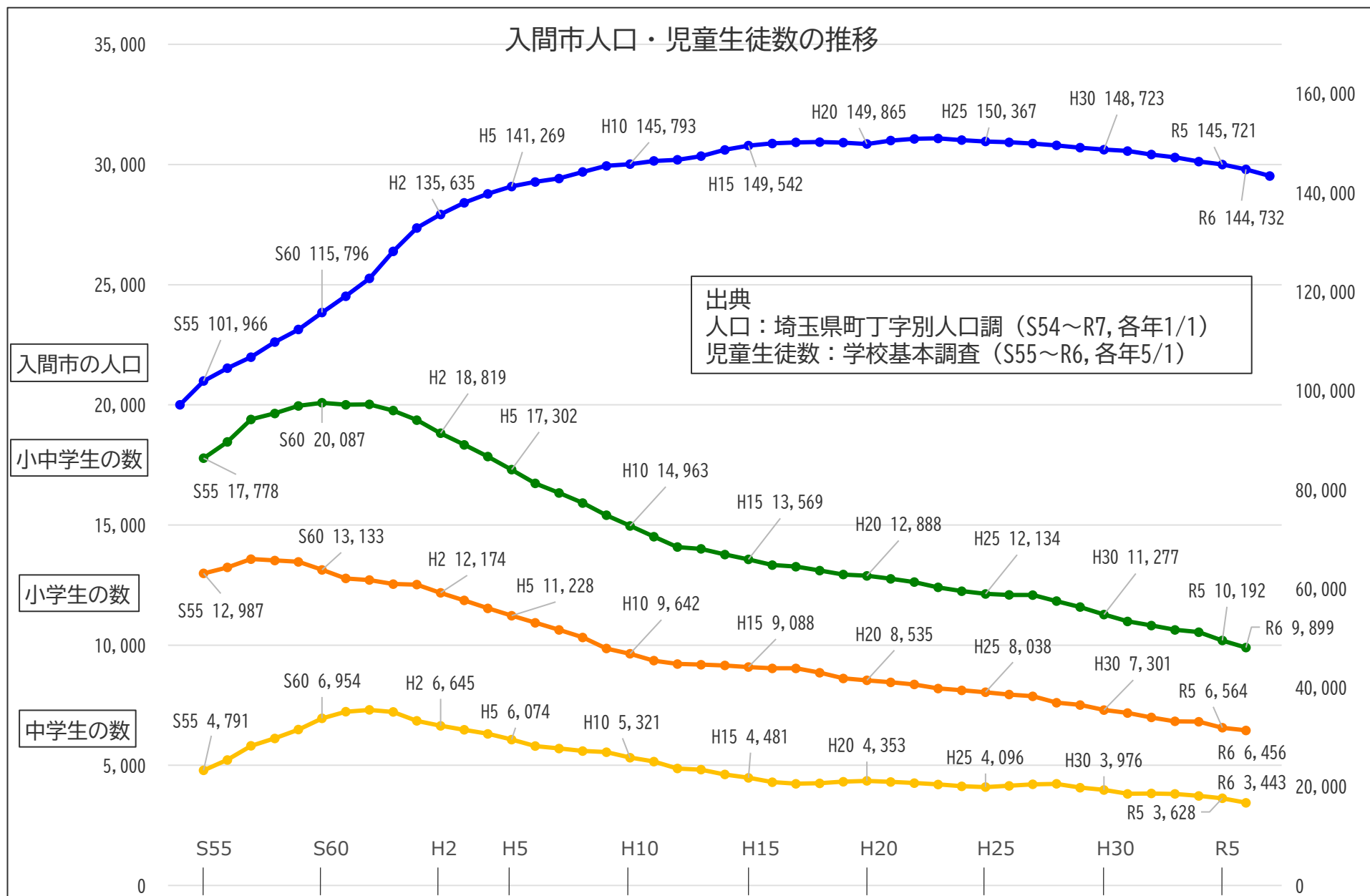
- ・ 統合のスケジュールについて . . . . . P. 14
- ・ 学校統合委員会について . . . . . P. 15

## 4. 通学方法

- ・ 通学方法 . . . . . P. 17
- ・ スクールバスの対象児童について（案） . . P. 18

# 1. 学校統合について

# 入間市の人口と児童生徒数の推移



# 学校統合の目的

## 「教育の質」を維持向上するための適正規模・適正配置

少子化が進む時代にあって、本市の教育理念である「豊かな人間性の育成」を目指すためには、学校の適正規模・適正配置を考慮する必要があります。

適正規模・適正配置の第一の眼目は「教育の質」を維持向上するために教育環境を整えることです。

本市における小学校の適正規模は、国の基準等※1を踏まえ、各学年2学級～3学級としています。

※1 国の基準…学校教育法施行規則、「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」(文部科学省)

### 適正規模を維持するメリット

- ・クラス替えにより、人のつながりや友人関係が広げられる
- ・適度な競争力を保持することで切磋琢磨し、一人一人の資質や能力をのばせる
- ・学習や生活の指導が適切に行える
- ・確かな教育水準を維持し、教育の機会均等が確保される
- ・授業や運動会などの行事を通じて、集団間の交流や向上心が育成できる

「入間市立小・中学校の規模及び配置の適正化に関する基本方針」(H26策定)より一部抜粋

# 令和14年度の児童数及びクラス数推計(通常学級)

令和7年5月1日現在の住民基本台帳と「入間市人口ビジョン」(令和2年度時点修正)に基づいて推計しました。※令和7年度の0～5歳児が統合予定の令和14年度に小学生になると想定し、1クラス35人で推計。

## 宮寺小学校

1年生	12人(1クラス)	4年生	24人(1クラス)
2年生	12人(1クラス)	5年生	24人(1クラス)
3年生	23人(1クラス)	6年生	30人(1クラス)

## 狭山小学校

1年生	25人(1クラス)	4年生	36人(2クラス)
2年生	25人(1クラス)	5年生	40人(2クラス)
3年生	27人(1クラス)	6年生	44人(2クラス)



## 統合小学校

1年生	37人(2クラス)	4年生	60人(2クラス)
2年生	37人(2クラス)	5年生	64人(2クラス)
3年生	50人(2クラス)	6年生	74人(3クラス)
合計322人(13クラス)			

適正規模(学年2～3学級)の維持が可能に。

## 2. 統合・建替え場所決定の経緯

# 統合の経緯

## ①平成31年3月

「入間市公共施設マネジメント事業計画」策定  
(平成29年度から各地区での意見交換会・懇談会・説明会)

## ②令和元年度 ～令和2年度

計画が地域に与える影響及び課題についての住民意見を聴取するため、「学校統合地区検討会議」を設置

## ③令和3年3月

2年間で6回の学校統合地区検討会議を開催し、地域住民の意見を取りまとめた検討結果(報告書)を市長に提出

## ④令和6年7月

学校統合地区検討会議報告会を開催し、狭山小学校を活用し統合・建替えを行うことに決定したことを報告



# ①公共施設マネジメント事業計画(平成31年3月策定)

市内の公共施設に関する、将来の施設整備の具体的な取り組み内容を示す計画として、平成31年3月に策定。

## 計画期間

● 第1期	2019年～2028年（平成31年～令和10年）
第2期	2029年～2038年（令和11年～令和20年）
第3期	2039年～2048年（令和21年～令和30年）

## 宮寺小学校と狭山小学校の統合の方向性

第1期（2019年～2028年／平成31年～令和10年）

- ・児童数の推移と施設の老朽化の状況を踏まえて統合・建替えを行う。
- ・児童の通学の状況を考慮し、地区の中間付近への移転・建替えを検討する。
- ・小学校の再整備に併せて学童保育室を校舎に複合化する。

「入間市公共施設マネジメント事業計画」(H31策定)より一部抜粋

## ②学校統合地区検討会議(令和元年度～2年度)

### 学校統合地区検討会議

#### 設置目的

「入間市公共施設マネジメント事業計画」による学校の統合を行うに当たり、当該計画が地域に与える影響及び課題について地域ごとに住民の意見を聴取するため設置。児童又は生徒の通学上の安全確保その他の事業計画に係る課題等について検討及び意見交換を行う。

#### 設置期間 開催回数

令和元年8月～令和3年3月 計6回開催

#### 構成

- |                |             |
|----------------|-------------|
| ○小・中学校PTA      | ○区又は自治会     |
| ○民生委員・児童委員     | ○公募         |
| ○青少年健全育成推進会    | ○狭山地方交通安全協会 |
| ○保育所又は幼稚園等の保護者 | 16人         |

### ③学校統合地区検討会議(報告書の提出)(令和3年3月)

#### 報告書の内容(一部抜粋)

##### ○通学に関して

児童の安全な登下校が一番の課題である。

##### ○新しい学校の整備に関して

先進的な学習環境、快適なトイレなど生活環境についても十分な配慮が必要である。

##### ○防災対策・地域や人へのケアについて

小学校は避難場所・避難所であるので、新しい学校は災害時の安全確保に十分な対策が求められる。

## ④学校統合地区検討会議 報告会(令和6年7月)(1) 用地取得に向けた経緯

令和元年～

「入間市公共施設マネジメント事業計画」に基づき、両校の中間付近での用地取得について検討

令和3年度～  
令和5年度

候補地を絞り、土地所有者の方々にご意向を伺うとともに、庁内で検証し、土地所有者の方々と交渉。



全ての方との協議が整わず、土地の取得を断念

令和6年度

中間付近での学校建設に適した土地を確保することが困難であることが明らかとなり、狭山小学校の敷地を活用する方針を決定

## ④学校統合地区検討会議 報告会(令和6年7月)(2) 用地の決定

### 学校施設の現状

学校施設の老朽化、児童数の減少などへの対策を先延ばしにできない。

### 用地取得の断念

中間付近で、学校建設に適した土地を取得できる見通しが立たない。



### 統合建替えの条件

借地の解消を図り、小学校の統合・建替えが可能な土地とする。



### 統合建替場所の方針

狭山小学校を活用して統合・建替えを進めることとした。

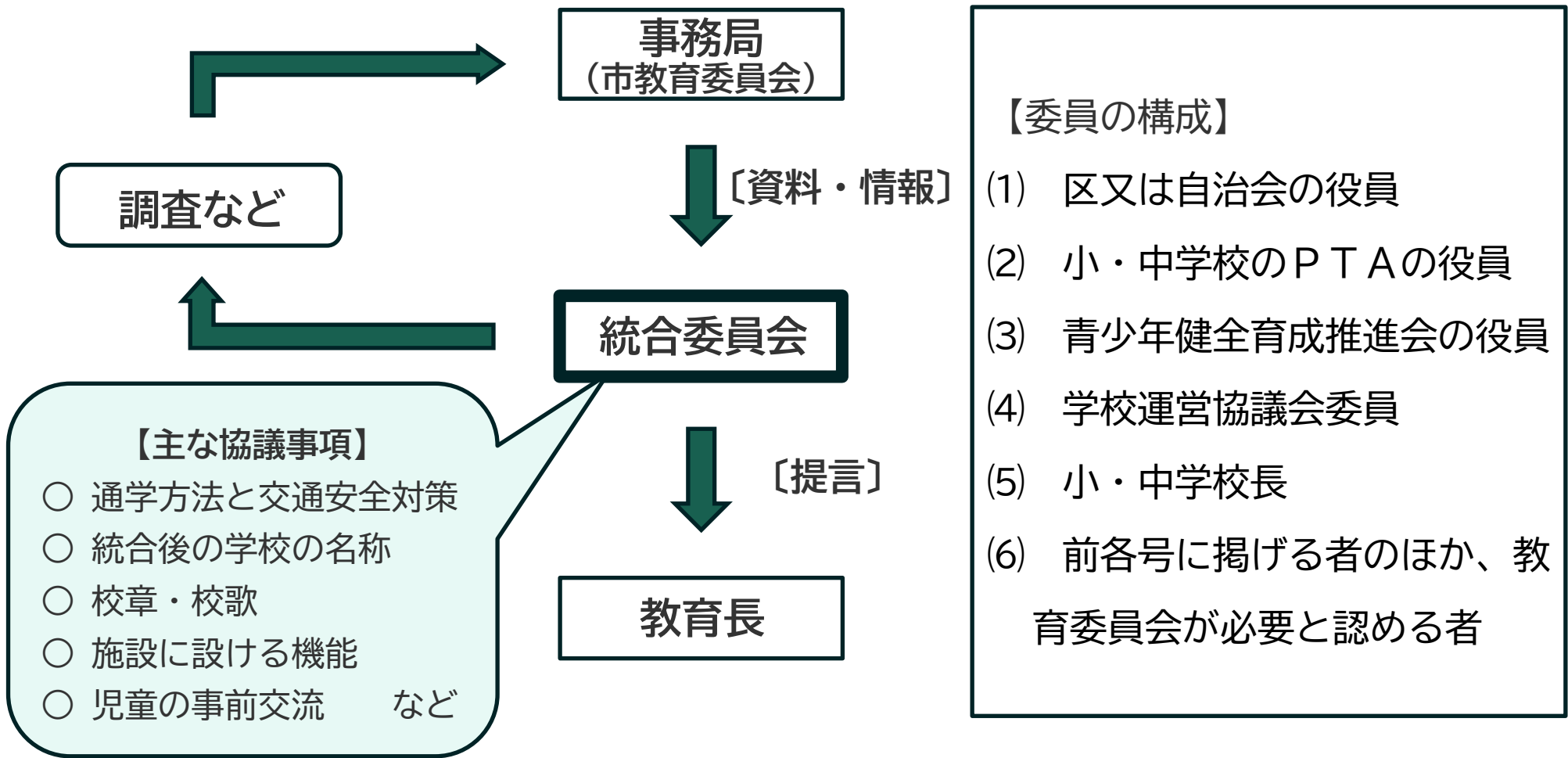
### 3. 統合のスケジュール

# 統合のスケジュールについて

## スケジュール(案)について

年度月	全体スケジュール	備考
令和7年度	統合に関する説明会（本日開催） 学校統合委員会設置（～R8）	
令和8年度	校舎建替え基本計画策定	
令和9年度	新校舎設計（1年目）	
令和10年度	新校舎設計（2年目）	
令和11年度	新校舎建設工事（1年目）	狭山小敷地内
令和12年度	新校舎建設工事（2年目）	
令和13年度	新校舎建設工事（3年目）	
令和14年度	宮寺小、狭山小統合	新校舎開校

## 学校統合委員会の構成・協議事項





## 4. 通学方法

## 検討課題について

庁内において「国道16号横断時の安全性」及び「通学距離を考慮した通学方法」を検討しました。結果、以下の方針(案)を定めました。

### 方針(案)

#### 1. 国道16号の横断は、宮寺南交差点歩道橋を經由

国道16号は車両の交通量が多いことから、安全に配慮し、宮寺南交差点歩道橋で国道16号を横断する通学路とします。

#### 2. 通学距離を考慮したスクールバスの導入

統合後、狭山小までの距離が直線2km以上となる児童が一定数見込まれます。

市内小学校の通学距離は、最大で、おおむね直線2km程度です。

狭山小から直線2km以上を基準にスクールバスを導入する予定です。

# スクールバスの対象児童について(案)

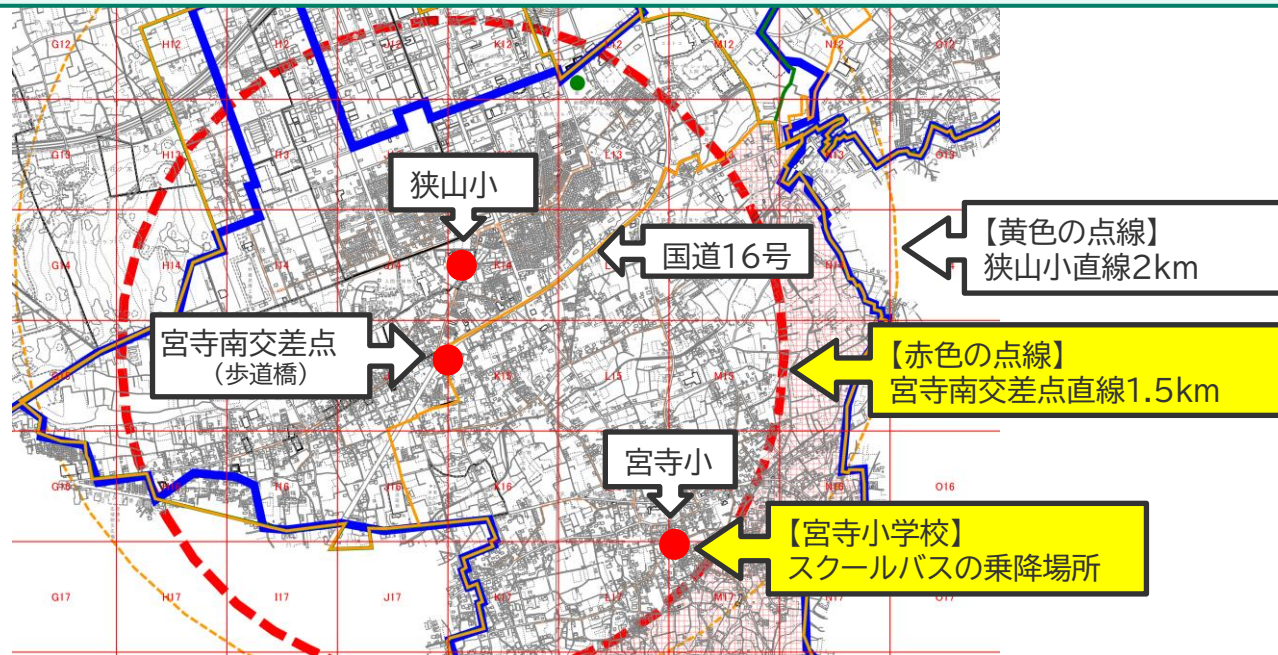
導入経緯：宮寺・二本木地区小学校の統合に限り、スクールバスを導入。

※統合により、学校からの直線距離が2km以上となる児童が一定数見込まれます。

市内小学校の通学距離は、最大で、おおむね直線2kmであることから、宮寺・二本木地区小学校の統合に限り、スクールバスを導入予定です。

利用条件：「宮寺南交差点歩道橋から直線1.5km以上の通学距離」を基準。

※国道16号を安全に横断できる通学路が、宮寺南交差点の歩道橋を通る経路に限定される点を考慮し、学校から歩道橋（0.5km）との合計2kmとして、歩道橋から直線1.5km以上を基準としました。このことにより、対象児童は約30名程度となる見込です。



詳細については、学校統合委員会にて検討いたします。

ご清聴ありがとうございました。

今後もスムーズな学校統合に向け準備を進めて参ります。